



エコアクション21

認証番号 0012688

環境経営レポート

(対象期間：令和5年5月1日から令和6年4月30日)

発行日：2024年6月30日



(株) 猖々谷建設

目次

1. 環境理念、環境方針	3
2. 組織の概要	4
3. 実施体制図・関係者の権限と役割	7
4. 環境経営負荷と中期経営環境目標	8
5. 環境経営活動計画.....	13
6. 2023 年度取組の結果と評価 及び 次年度の取組内容	14
7. 地域とのコミュニケーション・責任ある行動による働きやすい職場づくり	16
8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認 及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	18
9 代表者による全体評価の見直しの結果	19

1. 環境経営理念 環境経営方針

環 境 経 営 理 念

当社は、事業活動を通して地球環境への影響を軽減させ、限りある資源を大切にし、地球環境保全と人の安全に配慮し、持続的社会的な実現に向けて貢献いたします。

環 境 経 営 方 針

- 1・事業活動に関する環境関連法規制・協定その他の要求事項を遵守し誠実な事業活動実践する。
- 2・事業活動における環境汚染を予防し、資源やエネルギーの節約に取り組む環境経営力向上と組織活性化の継続的改善に努めます。
- 3・地域社会とのコミュニケーションを図り、奉仕活動（地域清掃）支援活動等を継続的に行い、地域環境の保全、社会の発展に寄与する。
- 4・当社は発生する廃棄物の再資源化を重点に全従業員へ環境保全教育を通じて、周知徹底し一人一人環境に対する意識向上に努めます。

「改訂日」 令和 4 年 5 月 1 日

株式会社 猖々谷建設

代表取締役 猖々谷勝文

2 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社狷々谷建設 代表取締役 狷々谷 勝文

2. 所在地（認証範囲における事業所名とその住所）

本社：〒042-0952 北海道函館市高松町 575 番地 270

中間処理施設 E・R・C：〒041-0834 北海道函館市東山町 134 番 2

札幌営業所：〒061-3218 北海道石狩市花畔 360 番 47

資材置場：〒042-0951 北海道函館市瀬戸川町 1 2 4 番地 9 8

高松町駐車場・給油所：〒42-0952 函館市高松町 575 番地 7

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

専務取締役 狷々谷 美奈子

本社 北海道函館市高松町 575 番地 270 TEL (0138) 57-5043

4. 事業内容の概要(認証範囲における業務範囲)

解体工事業、土木建築の施工及び請負業、一般貨物自動車運送業、産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、自動車整備業事業

5. 事業の規模(売上高、従業員数、事業所の延べ床面積等、産業廃棄物の収集運搬・処分量)

活動規模	単位	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年度	令和 5 年度
収集運搬量	t	16,881.46	20,942.14	29,191.96	10,425.44
受託処理量	t	32,962.34	33,464.34	30,078.50	23,455.88
売上高	百万円	1,250	1,721	1,472	1,187
従業員	人	30	40	40	40
床面積	m ²	162.7	162.7	162.7	162.7
工事等の件数	件	185	221	181	182
倉庫床面積	m ²	869.94	869.94	869.94	869.94
資機材置場面積	m ²	39.08	39.08	39.08	39.08
高松町駐車場・給油所面積	m ²	5280	5280	5280	5280

6. 情報公開項目

①創立年月日：狷々谷重機 昭和 54 年 4 月 1 日創立

会社設立年月日：有限会社狷々谷重機 昭和 62 年 4 月 6 日設立

組織変更年月日：株式会社狷々谷建設 平成 5 年 5 月 21 日組織変更し設立

②資本金：3,000 万円

7. 許可の内容：建設業許可番号、業種(特定建設業)

北海道知事許可（特一2）渡第 3092 号

土木工事業、とび、土工工事業、水道施設工事業
解体工事業、建築工事業、大工工事業

北海道運輸局許可 一般運送業 北自貨第 1169 号

産業廃棄処分業許可 函館市 第 5220025946 号

許可年月日令和元年 7 月 28 日 許可の有効年月日 令和 12 年 7 月 27 日

事業範囲 破碎（木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（これらの
もののうちガラスくずを除く。）がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊
を含む）

産業廃棄物収集運搬許可 北海道 第 0100025946 号

許可の年月日 令和 2 年 5 月 17 日 許可の有効年月日 令和 7 年 5 月 16 日

事業範囲 燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリ
ートくず及び陶磁器くず、がれき類。以上、石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物
であるものを含む。積替保管なし

自動車分解整備事業認証 認証番号 第 2-652 号

8. 施設の状況

収集運搬業：運搬車両の種類と台数

11t ダンプ 10 台 8t ダンプ 1 台 4t ダンプ 4 台 2t ダンプ 2 台

2t ユニック 1 台 11t セルフ 1 台 トレーラ・セミトレーラ各 1 台

8t セルフ 1 台

処 分 業：処理施設の種類 産業廃棄物中間処理施設

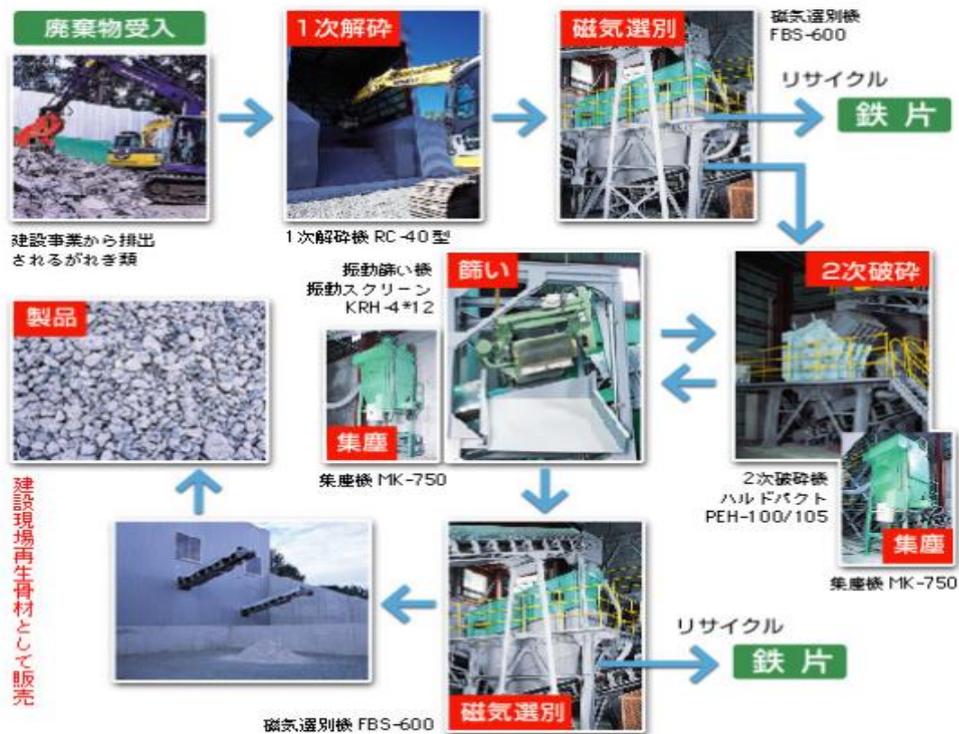
処理する産業廃棄物の種類 木くず・廃アスファルト・廃コンクリート

処理能力（規模）がれき類 640 t/日（8 時間） 80 t/ 時間

木くず 600 t/日（8 時間） 75 t/ 時間

がれき類（コンクリート・アスファルト）処理工程

がれき類は破片を除去、建設現場再生用骨材製品にリサイクルをして販売しております。

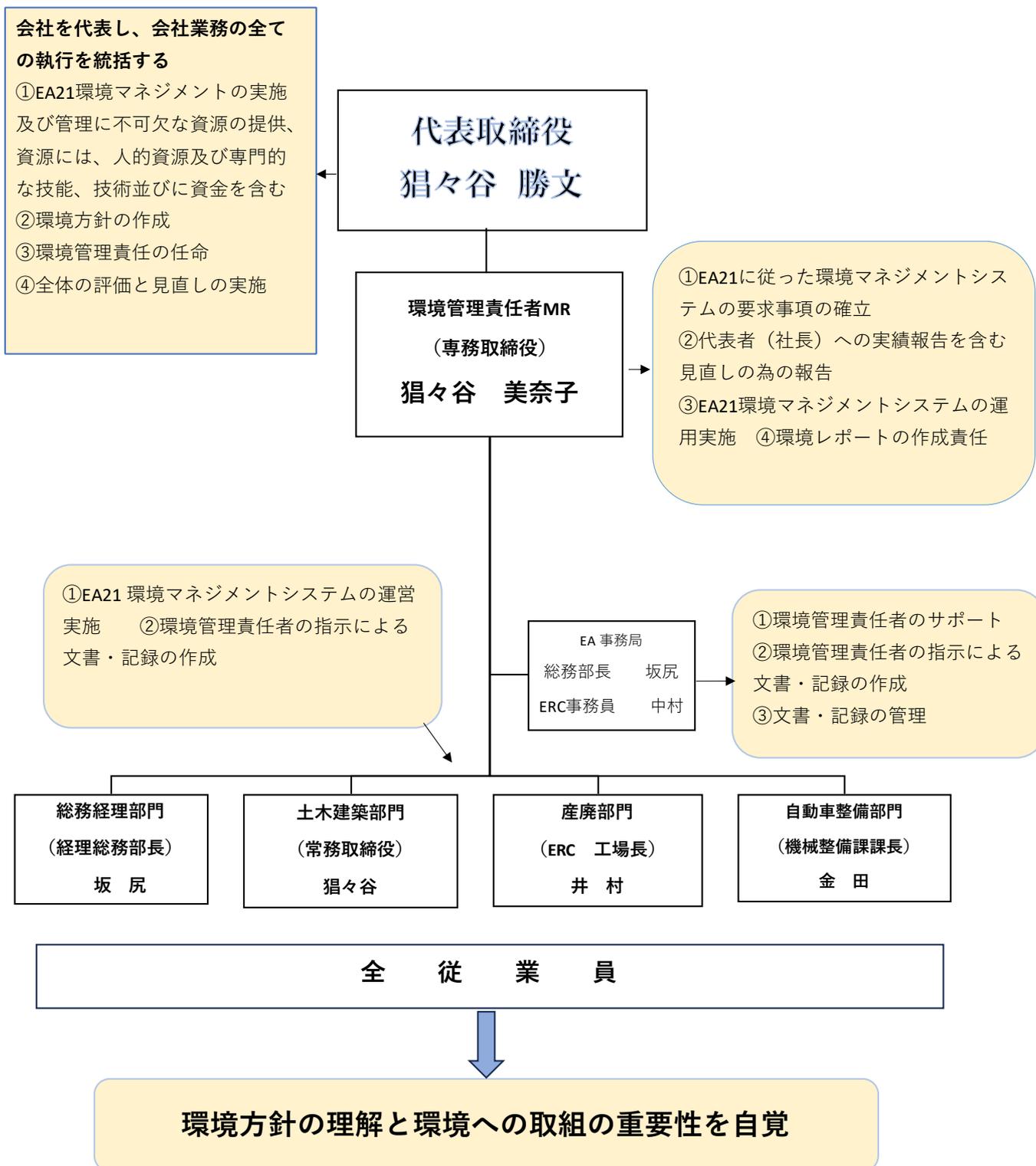


木くず処理工程

木くずはチップ化して販売しております。

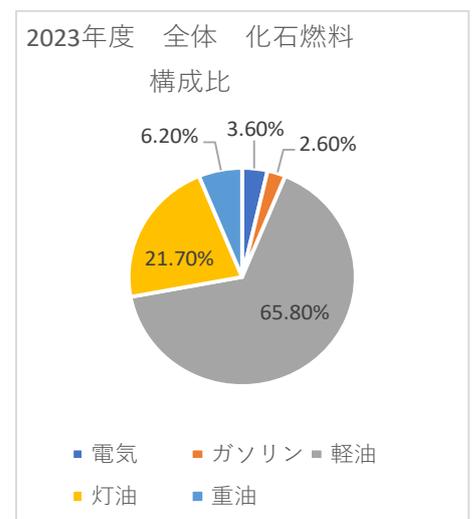
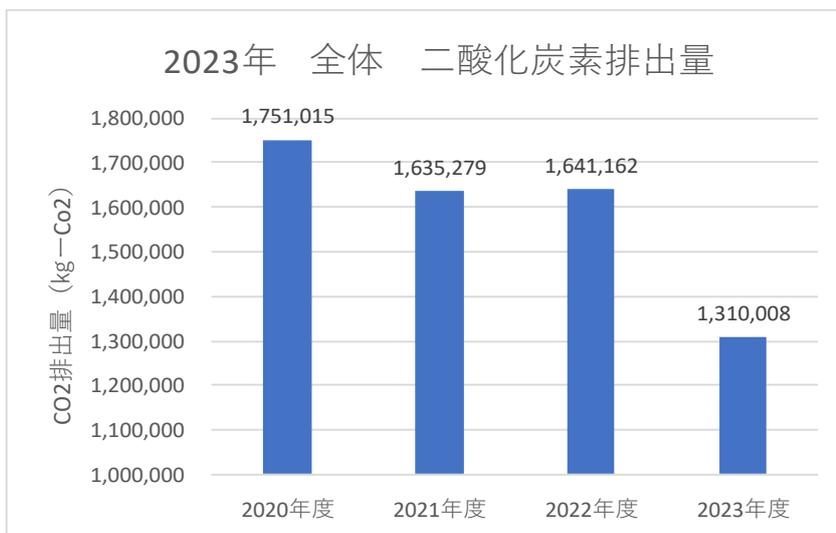


3. 実施体制図・関係者の権限と役割



4. 環境経営負荷（過去4年分実績）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
項目		単位	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績
売上高		百万円	1,250	1,721	1,472	1,187
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	1,751,015	1,635,279	1,641,162	1,310,008
全 体	電力1 北電	KWh/年	74,955	69,271	64,645	53,588
	電力2 どさんこパワー	KWh/年	36,954	39,027	34,681	34,884
	ガソリン使用量	ℓ/年	16,078	15,154	17,935	14,854
	軽油	ℓ/年	459,039	387,377	405,214	334,321
	灯油	ℓ/年	109,904	136,757	126,004	113,953
	A重油	ℓ/年	70,000	74,000	68,000	30,000
	液化石油ガス（LPG）	kg/年	85	150	518	77.00
環 境 活 動 計 画	本社電気使用量	KWh/年	12,281	11,568	11,277	11,455
	ダンプ燃費	km/ℓ	2.3	2.5	2.63	2.66
	ERC最大需要電力	KW	83	84	85	76
	ERCチップエネルギー使用量	ℓ/m ³	0.85	0.79	0.70	0.73
	ERC再生材エネルギー使用量	KWh/m ³	3.16	2.56	2.57	3.55
	産業廃棄物削減	木屑リサイクル100% の継続	100%	100%	100%	100%
産 業 廃 棄 物 の 削 減	産業廃棄物 総排出量	t/年	11,566	16,091	17,365	7,773
	特別管理産業 廃棄物総排出量	t/年	5	14	112	1.85
	産業廃棄物 再資源化率	%/年	99.5	99.7	99.8	98.60
	一般廃棄物	kg/年	4,614	3,584	4,614	15,062



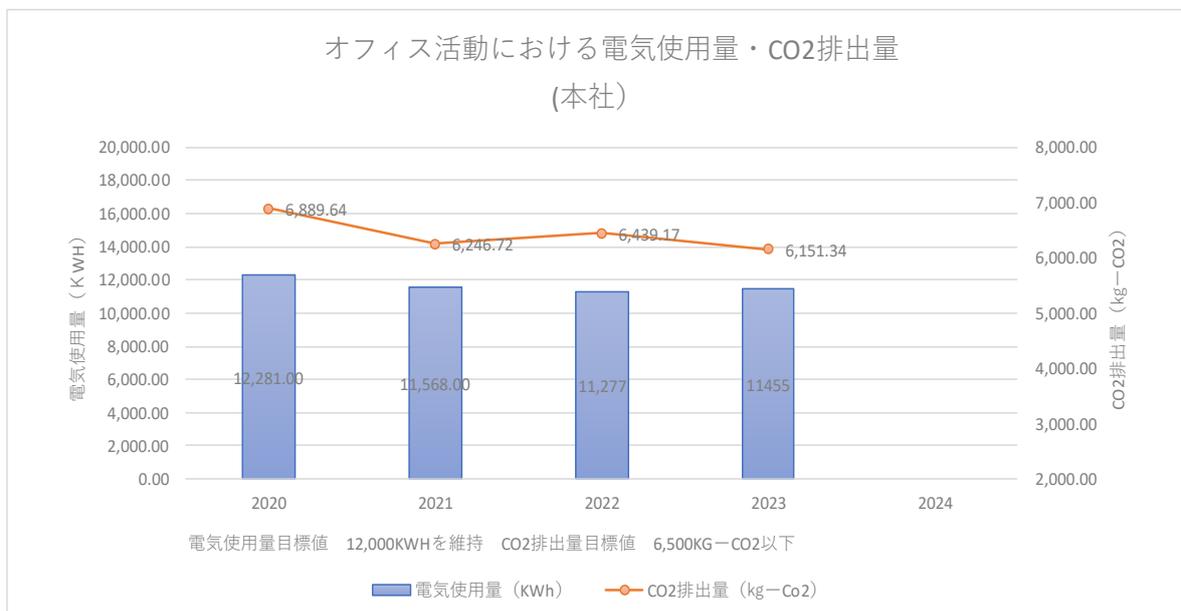
中期環境経営目標（2023年から2025年）		単年度目標	中期環境経営目標					
項目	単位	2020年度	2023年度	2023年度	評価	2024年度	2025年度	
		基準値	目標(見直し案)	実績		目標	目標	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	対基準値比	5%削減	25.1%削減	○	6%削減	7%削減	
		1,751,015	1,663,464	1,310,008		1,645,954	1,628,444	
環境活動計画	本社電気使用量	%	対基準値比	これまでの取組からの低減は限界の為 維持項目とした				
		KWh/年	12,281	12,000以下	11,455	○	12,000以下	12,000以下
	ダンプ燃費	%	対基準値比	11%向上	15.6%向上	○	12%向上	13%向上
		km/ℓ	2.3	2.55	2.66		2.57	2.59
	ERC 最大需要電力 デマンド値	%	対基準値比	1.2%削減	7.3%削減	○	1.2%削減	1.2%削減
		KW/月	—	82	76		82	82
		KW/年 <small>契約電力</small>	83	—	—		—	—
	ERC チップエネルギー使用量	%	対基準値比	9.4%削減	14.1%削減	○	10%削減	10%削減
		ℓ/m ³	0.85	0.77	0.73		0.76	0.76
	ERC再生材エネルギー使用量	%	対基準値比	組織の状況を見直した結果 維持項目とした				
KWh/m ³		3.16	3.16 維持	3.55	×	3.16 維持	3.16 維持	
産業廃棄物削減	木屑リサイクル率 100%の継続（土木産廃）	100%	100%	100%	○	100%	100%	
化学物質の適正管理	整備部門	PRTR法対象物質の少ない製品をメーカーに確認						
地域社会貢献活動	総務部	地域社会とコミュニケーションを図り奉仕活動（地域清掃）及び支援活動等の継続						

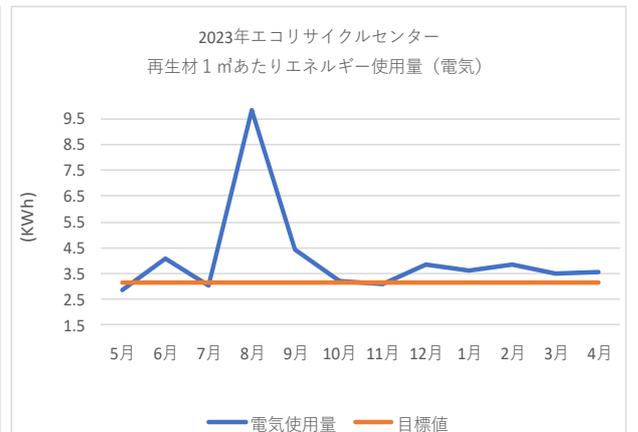
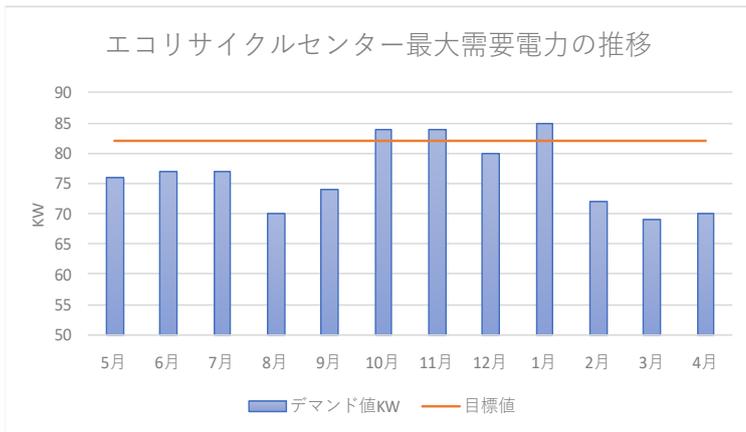
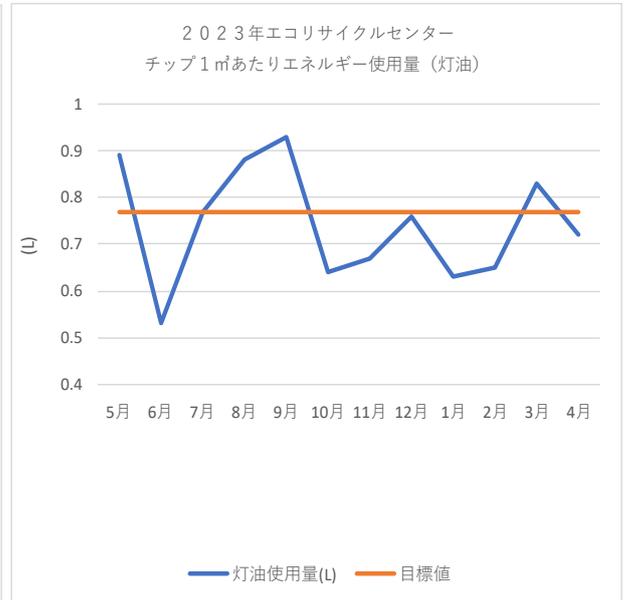
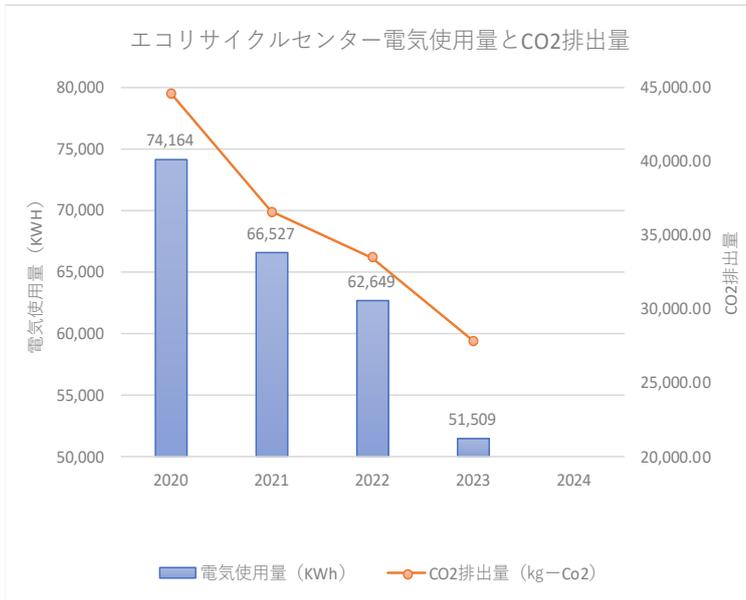
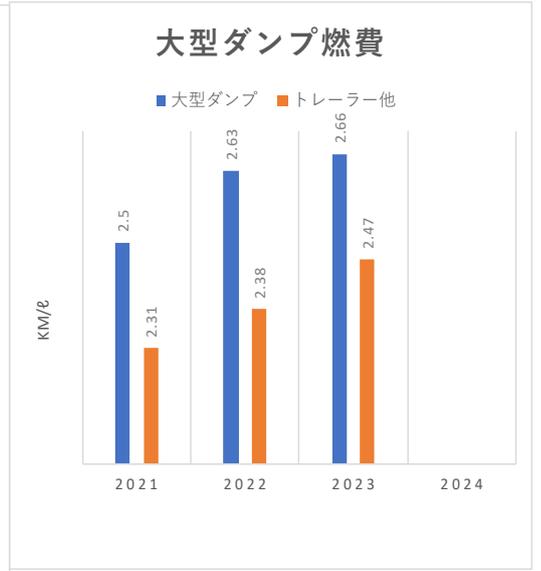
基準値については2020年実績を基準とした

購入電力のCO2排出量は2020年 どさんこパワー0.561kg-CO2/kWh

北海道電力 0.601kg-CO2/kWhを使用しています

組織の状況に見合った数値化を検討した結果 本社電気使用量及び再生材エネルギー使用量は低減は限界の為 維持項目としました。デマンド値に関しては 年単位から月単位で細かく観察する





2023年5月～2024年4月

部門別エネルギー使用量のまとめ

部門別取りまとめ		本社 事務所						
		2022年			2023年			
該当項目		量	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	前年比 CO2 削減率
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	kWh			kWh			
	電力2 (排出係数0.537kg-CO2/kWh)	11,277.00 kWh	6,439.17	13.5%	11,455.00 kWh	6,151.34	13.1%	96%
	ガソリン	12,660.94 L	29,373.38	61.6%	12,539.49 L	29,091.62	61.8%	99%
	軽油	2,373.39 L	6,123.35	12.8%	2,854.15 L	7,363.71	15.6%	120%
	灯油	2,300.00 L	5,727.00	12.0%	1,770 L	4,407.30	9.4%	77%
	A重油	L			L			
	液化石油ガス (LPG)	26.08 kg	78.24	0.1%	28.36 kg	85.08	0.2%	109%
	合計 (エネルギー)		47,741.14	100.0%		47,099.05	100.0%	99%
		土木部門						
		2022年			2023年			
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	1,996.00 kWh	1,071.85	0.2%	2,079.00 kWh	1,124.74	0.3%	105%
	電力2 (排出係数0.537kg-CO2/kWh)	5,309.00 kWh	3,031.44	0.5%	6,364.00 kWh	3,417.47	1.0%	113%
	ガソリン	5,254.02 L	12,189.33	2.1%	2,314.76 L	5,370.24	1.5%	44%
	軽油	125,528.30 L	323,863.01	55.4%	94,254.70 L	243,177.13	69.0%	75%
	灯油	23,600.56 L	58,765.39	10.1%	7,239.80 L	18,027.10	5.1%	31%
	A重油	68,000.00 L	184,280.00	31.5%	30,000.00 L	81,300.00	23.1%	44%
	液化石油ガス (LPG)	370.53 kg	1,111.59	0.2%	20.00 kg	60.00	0.0%	5%
	合計 (エネルギー)		584,312.61	100.0%		352,476.68	100.0%	60%
		ダンプ部門						
		2022年			2023年			
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	kWh			kWh			
	電力2 (排出係数0.537kg-CO2/kWh)	kWh			kWh			
	ガソリン	L			L			
	軽油	248,571.70 L	641,314.99	100.0%	229,998.62 L	593,396.44	100.0%	93%
	灯油	L			L			
	A重油	L			L			
	液化石油ガス (LPG)	kg			kg			
	合計 (エネルギー)		641,314.99	100.0%		593,396.44	100.0%	93%
		休憩場 洗車場 整備工場						
		2022年			2023年			
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	kWh			kWh			
	電力2 (排出係数0.537kg-CO2/kWh)	18,095.00 kWh	10,332.25	37.7%	17,065.00 kWh	9,163.91	37.8%	89%
	ガソリン	L			L			
	軽油	1,069.58 L	2,759.52	10.1%	906.93 L	2,339.88	9.7%	85%
	灯油	5,752.00 L	14,322.48	52.2%	5,115.00 L	12,736.35	52.5%	89%
	A重油	L			L			
	液化石油ガス (LPG)	kg			kg			
	合計 (エネルギー)		27,414.25	100.0%		24,240.13	100.0%	88%

		エコリサイクルセンター						
		2022年			2023年			
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	62,649.00 kWh	33,642.51	9.9%	51,509.00 kWh	27,866.37	9.5%	83%
	電力2	kWh			kWh			
	ガソリン	20.00 L	46.40	0.0%	0.00 L			
	軽油	27,671.26 L	71,391.85	21.0%	6,307.01 L	16,272.09	5.6%	23%
	灯油	94,351.00 L	234,933.99	69.1%	99,828.20 L	248,572.22	84.9%	106%
	A重油	L			0.00 L			
	液化石油ガス (LPG)	121.51 kg	364.53	0.1%	28.21 kg	84.63	0.0%	23%
合計 (エネルギー)			340,379.28	100.0%		292,795.31	100.0%	86%
		全 体						
		2022年			2023年			
該当項目	量	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	前年比 CO2 削減率	
エネルギー 使用量	電力1 (排出係数0.541kg-CO2/kWh)	64,645.00 kWh	34,714.37	2.1%	53588.00 kWh	28,991.11	2.2%	84%
	電力2 (排出係数0.537kg-CO2/kWh)	34,681.00 kWh	19,802.85	1.2%	34884.00 kWh	18,732.72	1.4%	95%
	ガソリン	17,934.96 L	41,609.11	2.6%	14854.25 L	34,461.86	2.6%	83%
	軽油	405,214.23 L	1,045,452.71	63.7%	334321.41 L	862,549.25	65.8%	83%
	灯油	126,003.56 L	313,748.86	19.1%	113953.00 L	283,742.97	21.7%	90%
	A重油	68,000.00 L	184,280.00	11.2%	30000.00 L	81,300.00	6.2%	44%
	液化石油ガス (LPG)	518.12 kg	1,554.36	0.1%	76.57 kg	229.71	0.0%	15%
合計 (エネルギー)			1,641,162	100.0%		1,310,008	100.0%	80%

電力1 北海道電力

kg-CO2

kg-CO2

電力2 どさんこパワー

5. R5 年度 環境活動計画

項目	環境経営目標	活動内容	関連SDGs	責任者
二酸化炭素 排出量の削減	本社 電気の使用量 12,000KW h/年 以下を維持する	①照明、パソコン等のこまめな管理 ②エアコン温度の管理（夏26℃設定） ③複写機・パソコンは省エネモード	  	総務部 狩々谷
	ダンプ燃費2.55km/ℓ 以上 （ダンプ部門）	①点検整備、空気圧管理 ②アイドリングストップ ③エンジンブレーキの使用 ④急加速を行わない ⑤ドライバーの燃費管理 ⑥高段速ギアの使用、エンジンブレーキの活用 ⑦渋滞の回避、過積載をしない （詳細は手順書を参照）	  	土木部 狩々谷
	最大需要電力の削減 月平均82KW以下を維持する 木屑チップ エネルギー使用量の管理 0.77 ℓ/m ³ 再生材 エネルギー使用量の管理 3.16KW h/m ³ （産廃部門）	①始業点検、終業点検の実施 ②管理手順書の順守 ③時間帯、季節、現場受入量など環境に 合わせ無理のない省エネを行う。 ④デマンドコントローラーの活用	     	ERC 井村
廃棄物の削減	木屑リサイクル100%の継続 （土木部門、産廃部門）	①分別の徹底 ②解体時の管理手順順守	  	土木部 狩々谷 ERC 井村
化学物質 使用量の削減	PRTR法対象物質の少ない製品を製造メーカーに 確認する （自動車整備部門）	①メーカーに確認 ②厚生労働省ホームページにて情報収集 ③新たな化学物質規制に関するチェックリスト を参考	 	整備 金田
その他	地球環境の改善となる活動への参加 （全社）	①清掃美化運動などへ参加 ②地域社会とのコミュニケーション	   	総務部 狩々谷

水資源削減-自動車整備工場の洗車使用及びERCの粉塵対策が主な使用であり削減は困難で
目標設定は実施しないが無駄な使用はしないように努める。

化石燃料使用量 気温変動や物件数の要因が大きい為 目標設定は実施しないが
無駄に使用しないように努める

中間処理施設（ERC）の電気使用量 → 受入の産業廃棄物の質・量により変動が大きいので目標設定は実施しないが
無駄にしないように努める。

6. 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の目標と計画

(1) 二酸化炭素の排出量の削減

部門	取組活動	実施状況	次年度	実施状況の評価
本社	unnecessary照明の消灯	○	継続	総量では、ほぼ計画通りの使用量となった。 猛暑による気温上昇や 感染予防で換気を保ちながらのエアコン稼働でしたが温度管理が徹底されていた。 安定した電力消費となった。
	エアコンの設定温度を決め省エネに取り組む	○	継続	
	複合機、パソコンは省エネモード	○	継続	
	目標・計画の達成	目標12000KWH 年間実質TOTALは11,455KWH 累計達成率 95%であった 節電に心掛けて 次年度も削減に取り組んでいく。		

ダン プ 部 門	点検整備、空気圧の管理、アイドリングストップ	○	継続	会社全体で 運輸安全マネジメント計画を実施し ドライバー各自が 意識して行っている。
	エンジンブレーキの使用 急加速を行わない	○	継続	
	ドライバーの燃費管理、高弾速ギアの使用の活用	○	継続	
	渋滞の回避、過積載をしない	○	継続	
	目標・計画の達成	目標燃費 2.55km/L維持であったが 実績 2.66km/L (累計達成率104%↑) 次年度もエコドライブを実施し燃費向上 エネルギー使用量の削減努力をしていく。		

エ コ リ サ イ ク ル セ ン タ ー	始業点検、終業点検の実施	○	継続	点検においては 各自チェックリストを用いて実施されていた。 再生材の製造は 冬季における破砕機の点検及び意図しないヒューマンエラー・誤認等に 注意する事
	管理手順書の順守	○	継続	
	時間帯、季節、現場受入量など環境に合わせた 無理のない効率の良い作業、省エネを行う	△	継続	電気料金も高騰が続いている為、作業効率を考え製造していたが 人員不足や受入量の減少の為 再生材の製造は目標に達成できなかった。
	目標・計画の達成	①最大デマンド値(最大需要電力)→12月 契約85KWで今年度は終了となる 月平均は76KW 累計達成率93% デマンドを抑えて作業ができた ②木屑チップ 1㎡あたりのエネルギー使用量 0.77→0.73L/㎡ (累計達成率95%) 少ないエネルギーで生産できた ③再生材 1㎡あたりのエネルギー使用量 3.16→3.55kwh/㎡ (累計達成率▲12% 機械の回転数を落として生産している為、目標達成が 出来なかった。) 次年度も努力していく		

(2) 産業廃棄物の削減

土木部門・エコリサイクルセンター (木屑リサイクル100%の継続)

木 部 門	分別の徹底、解体時の手順順守	○	継続	手順書に従い環境に配慮した作業が行われている 現場の分別作業、破砕時の前処理も徹底されている
	目標・計画の達成	分別によって 最終処分量を削減し 木屑のリサイクル100%継続を維持する リサイクルチップも順調に出荷されていた。		

(3) 化学物質使用量の削減

自動車整備部門 (PRTR法対象物質の少ない製品を製造メーカーに確認)

整 備 部 門	化学物質の適正な管理 PRTR法対象物質の少ない製品を製造メーカーに 確認していく	○	継続	適正に管理されている。
	次年度の取組内容	情報収集し次年度も安全な管理をおこなう。		

(4) その他

全社（地球環境の改善となる活動への参加）

取組活動	実施状況	次年度	実施状況の評価
清掃美化運動などへの参加	○	継続	年2回 地域清掃活動や 町をきれいにする市民運動など 精力的に参加 近隣道路草刈りボランティア活動も今年から加わりました
次年度の取組内容	地域社会との連携を図り、環境保全活動を積極的に実施し、地域環境の美化に努める。		



ボランティア清掃及び草刈り エリア



7. 地域社会とのコミュニケーション

【地域環境の保全と社会の発展に寄与】



- 函館の街をきれいにする市民運動
- サンパイヤレブジュニアサッカー大会
- 函館エコフェスタ 2023 協賛広告
- 函館地区トラック協会 チャレンジセーフティラリー北海道2023
- 函館港まつり
- 遺愛高等学校 吹奏楽 定期演奏会
- 函館湯川温泉花火大会 花火大会
- 東山町会 ふれあい東山まつり
- 函館 冬フェスティバル
- 函館野外劇の会
- 能登半島地震 災害義援金募金
- 世界自閉症啓発デーIN函館2024
- 南茅部ひろめ舟祭り協賛広告
- 全道社交飲食業者函館大会 協賛広告

【第2回 函館市消防本部 都市型搜索救助訓練】

災害時等に家屋等や土砂に埋もれた要救助者を救助するために必要な救助技術の向上・習得を目的とした訓練を エコリサイクルセンター内で行われました。



公正と安心をすべての人に

【Gマークの取得】



全日本トラック協会の「貨物自動車運送事業安全性評価事業」において安全性優良事業所の認定を受けています

安全運輸マネジメント計画の取組を行い安全性の向上に努めています。

責任ある行動による働きやすい職場づくり

安全教育や資格取得を支援し、思いやりを持って働ける職場環境の実現を目指しております。

【資格取得の推奨制度 2023年度】



玉掛け・ガス溶接 技能講習

職長・安全衛生責任者教育

車両系建設機械技能講習（基礎）

小型移動式クレーン運転技能講習

運行管理者指導講習（基礎講習）

整備主任者法令研修

建設業経理士CDP講習

有機溶剤作業主任者技能講習

運行管理者指導講習 一般講習

【働き方改革】

- ◆ 従業員の各々の事情や意欲に応じて 自分に合った働き方が出来る体制 仕組み作りを行っている。
- ◆ 経営的視点による従業員の健康管理への取組を行っています

【安全大会 安全祈願祭】



安全大会

北海道トラック交通共済協同組合
講師の方に来て頂き 安全講習会を
実施しました。



安全祈願祭



8.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連の法規制の違反はありませんでした。

また、利害関係からの訴訟、関係当局からの指摘はありませんでした。

主な法規制遵守確認記録	
作成日付： 2023年度	作成者：坂尻みどり 令和6年6月20日
法律等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、令、規則	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則(北海道)	○
産業廃棄物の保管施設のガイドライン（北海道）	○
産業廃棄物処理施設設置および維持管理に関する協定書(函館市、東山町会)	○
函館市廃棄物処理施設設置等指導要綱	○
函館市廃棄物の処理および清掃に関する条例	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律	○
大気汚染防止法、令、規則	○
石綿障害予防規則	○
北海道公害防止条例、規則	○
一般高圧ガス保安規則	○
計量法	○
電気事業法、電気事業法施行規則	○
毒物及び劇物取締法	○
特定化学物質の環境への排出量の把握、及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) 労働安全衛生法	○
浄化槽法、浄化槽法施行規則	○
消防法、危険物の規制に関する政令	○
函館市火災予防条例、規則	○
道路運送車両の保安基準、道路交通法	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、施行令、施行規則	○
建設工事に係る大気汚染防止法、令、規則	○
建設工事に係るポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法	○
建設工事に係る騒音規制法、令、規則	○
建設工事に係る振動規制法、令、規則	○
建設工事に係る北海道公害防止条例、規則	○
土木工事共通仕様書関連	○
土木工事共通仕様書関連技術指針	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)、施行令 建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針	○
建設副産物適正処理推進要綱（国土交通省事務次官通達）	○
再生資源の利用の促進について（建設大臣官房技術審議官）	○
河川法施工令、排水基準を定める省令	—
水質汚濁防止法(タンク漏洩事故対応)	—
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(油漏洩対応)	—
建設工事公衆災害防止対策要綱（建築 土木）	○
景観法	○
家電リサイクル法	○
フロン排出抑制法	○

遵守できていない場合は問題として是正処置を行う。「是正予防処置計画・報告書」に従う

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 要求事項の遵守評価結果

総務部、土木部、産廃部（ERC）は環境関連法規等を遵守している。

(2) 環境目標の達成状況及び環境目標計画の実施状況、その評価結果

総務部：電気使用量は夏場も節電 温度管理の徹底もされていた。

土木部：運輸マネジメントに基づき、エネルギーの削減につながっている。

産廃部：がれきの受入量が減少 人員不足も重なり生産量も減少 エネルギー削減には至らなかったが 作業員の技量を考慮し、機械の回転数を落とし 安全対策に重点をおき工場内での作業環境をより安全に保つ事ができた。

(3) 問題点の是正処置及び予防処置の結果

問題はなし

(4) 外部からの苦情の受付の結果

利害関係者からの訴訟、関係当局からの指摘はない。

(5) 当社に影響する法規制の動向

環境関連の法規制の違反はない。 行政からの改定はない。

(6) 環境経営システムの改善提案

地域社会とのコミュニケーション、奉仕活動（地域清掃）等で社会貢献につながるよう実施

(7) 総合評価及び見直の指示

工事物件の減少により がれき類の受入も減少、燃料高騰、物価上昇、マンパワー不足のうえ 働き方改革の促進で経営が厳しいなか 全従業員が協力し環境活動計画にそった活動で実質的には向上し 二酸化炭素排出量の削減につながっている。

今後も環境経営向上と組織の活性化の継続的改善に努める

- ・ 環境方針 環境目標 環境活動計画・実施体制及び環境経営システムに関する変更は無し
- ・ 法規制遵守 環境整備 顧客満足度の向上に努める